

総務建設常任委員会協議会

説明資料

令和6年8月8日

三沢川樋門整備事業について

資料

三沢川の概要	1
樋門の必要性	1
期待される効果	1
整備の方針	2
工事の概要	2

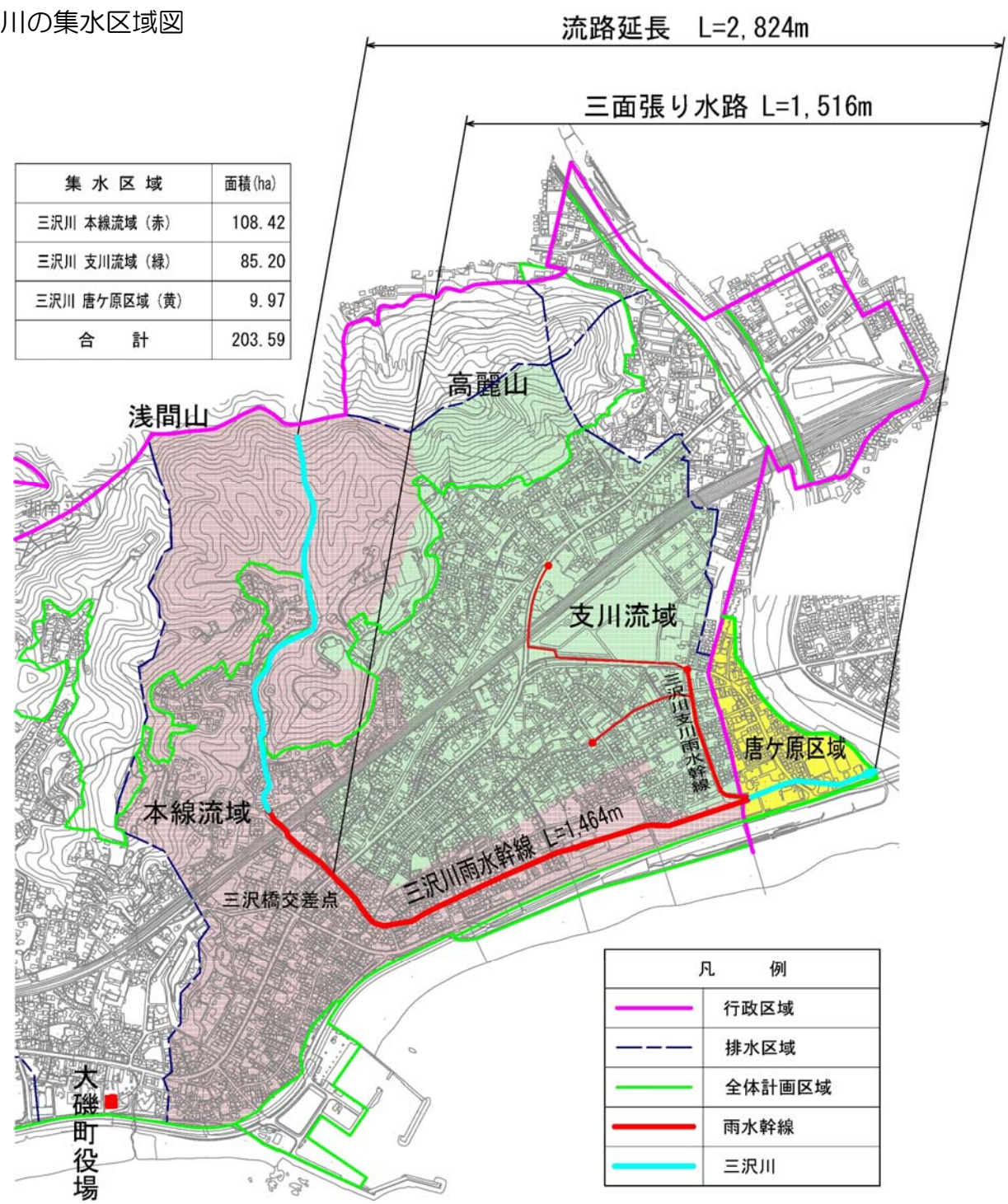
三沢川樋門整備事業について

三沢川の概要

三沢川は高麗山公園の浅間山付近に源を発し、金目川に流れる小河川です。その流域面積は203.59ha、流路延長2,824mで、計画排水量は21.422m³/sとなっています。

流域は源流部を除き、全体に都市化が進み、流出量の増加がみられ、このような状況から河口から三沢橋交差点までの1,516mの区間について河床と両岸の三面をコンクリートで覆った三面張り水路で整備されています。また、町の公共下水道基本計画に定めた計画降雨1時間当り55mmを処理する能力を有していることから、令和5年12月には、1,464mの区間について下水道事業による主要な雨水幹線として位置付け、管理を行っています。

○三沢川の集水区域図



樋門の必要性

金目川は、河川整備計画に基づき1時間当り50mmの降雨に対応できるよう、堤防の整備を進めています。

三沢川についても、金目川の河川整備計画に合わせ、嵩上げ工事を行いました。

今回、河川整備計画を超える降雨に対して検証を行ったところ、金目川が三沢川へ逆流し、溢水することが想定されたことから、その対策として樋門（フラップゲート）を設置することとしました。

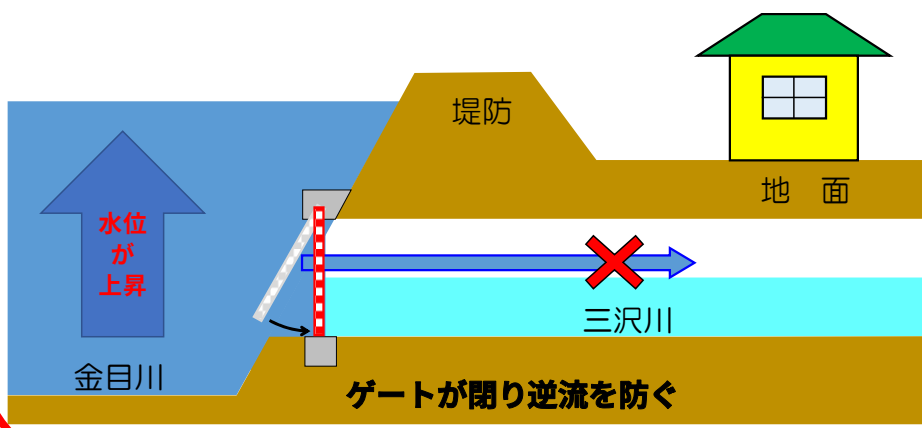
○三沢川の嵩上げ状況



期待される効果

防災機能の強化

- ・フラップゲートを設置することにより、金目川が水位上昇により三沢川に逆流することがなくなります。
- ・逆流による三沢川の溢水が防止され、浸水被害が抑制されることが期待されます。



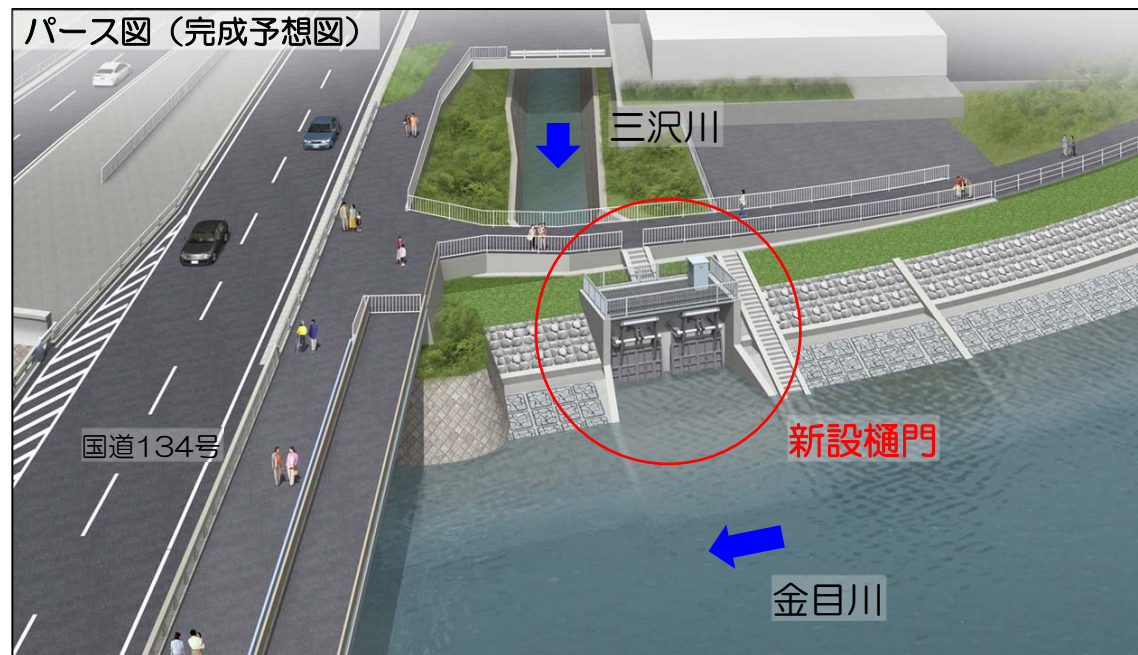
避難所へのアクセス向上

- ・三沢川の溢水が抑制され、道路冠水の軽減などにより、住民の避難所等へのアクセスが向上します。



整備の方針

- ・金目川との合流地点に樋門を設置し、金目川が水位上昇により三沢川へ逆流するのを遮断します。
- ・樋門の構造は、幅2.8m、高さ1.8mの2連のボックスカルバート、及び無動力で自動開閉するフラップゲートを採用します。
- ・フラップゲートの作動状況、例えば正常動作を阻害する土砂の堆積等は、カメラで遠隔監視します。
- ・土砂の堆積などにより自動開閉が出来ないときのために、手動操作による油圧式強制開閉機能を設けます。
- ・金目川の河川整備計画の降雨では、フラップゲートが自動開閉し三沢川は溢水しないので、ポンプ設備は設けません。



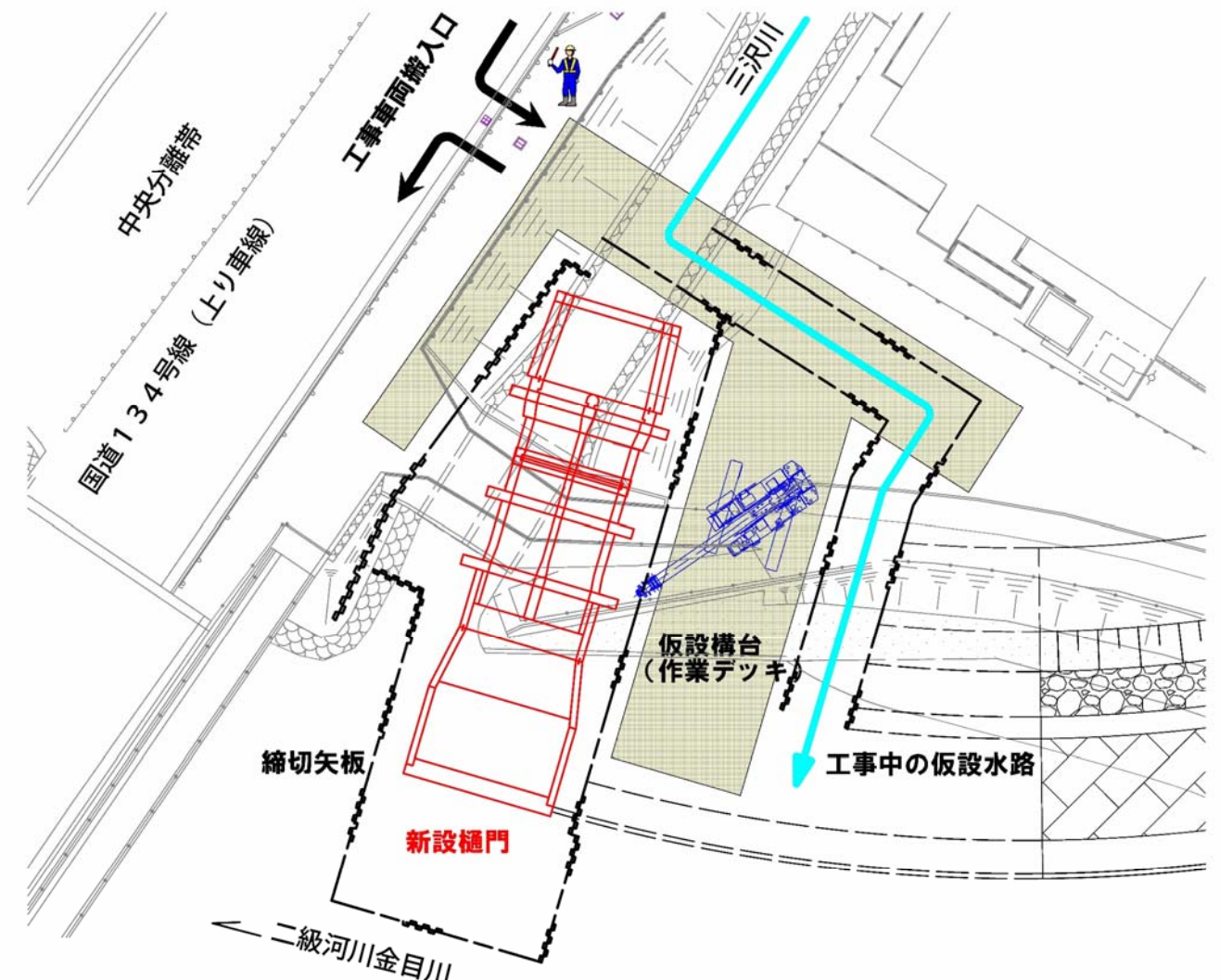
工事の概要

- ・工 事 件 名 三沢川樋門整備工事
- ・施 工 場 所 平塚市 唐ヶ原 地内
- ・工 事 費 462,000,000円〔予算額〕【継続費 R6:184,800,000円 R7:277,200,000円】
緊急自然災害防止対策事業債〔充当率100% 交付税措置率70%〕
- ・契 約 の 方 法 一般競争入札
- ・契 約 の 期 間 契約締結日 ～ 令和8年3月25日

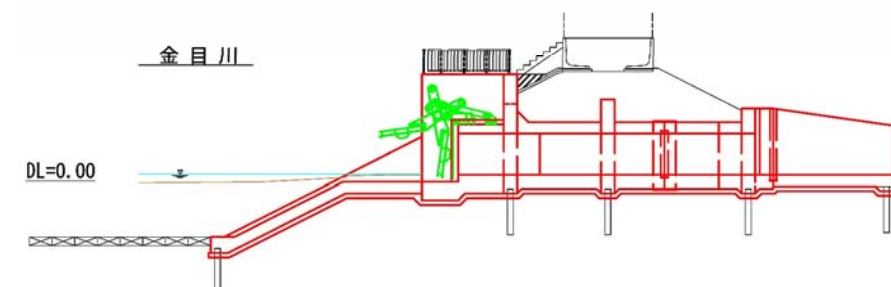
○概略工程表

	令和6年度												令和7年度												令和8年度
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
三沢川樋門整備工事																									

作業平面図



縦断面図



正面図

